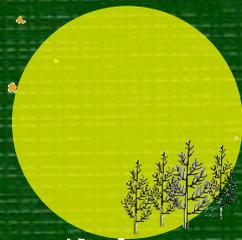


# No.30 MY FIELD

MY FIELDとは… 原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。  
原村で暮らす、おもしろくて素敵なひとを紹介します。



## 「ヤツガタケシゴトニン代表」 中村 洋平さん(39)

原村ペンション区に生まれ、大学進学をきっかけに上京。IT業界で働きながら、フリーペーパー「ヤツガタケノート」を発行し、地元の情報発信を始める。現在は原村に拠点を移し「合同会社ヤツガタケシゴトニン」を立ち上げ、ITやデザインを通じて地元の魅力を発信し、八ヶ岳エリアの観光業界には欠かすことのできない存在としてご活躍されている。

大切な故郷を守り繋げたい

純粋な想いを確かな形へと



今から30〜40年程前、原村はペンションブームの先駆けとして観光客で溢れかえっていた。そんな活気溢れる賑やかな環境で生まれた。そんな洋平さん。毎日知らない人が入れ替わり自分の家を訪ねてきては楽しそうに過ごしている様子を見ていて、不思議な気持ちだったという。沢山の大人と接して、色んな生き方があることをあの時学んでいたのかもしれないと当時を振り返った。

幼少期に見ていた賑わいも、高校を卒業する頃には徐々に衰退していき、その様子を目の当たりにして「生まれ育った故郷がなくなってしまう」という危機感を感じたという。

大好きな故郷を守るために何ができるだろうと考えたとき、自分自身が地域の情報を全然知らなかったことと、情報発信の中心となる媒体がこのエリアにはないことに気がついた。東京で働く傍ら、八ヶ岳エリアの魅力を集めたフリーペーパーを作成し始め、現在はWEB媒体を中心に地域の魅力発信やイベント開催、ECサイトの開設を手掛ける等、八ヶ岳エリアに欠かすことできない存在となった。

「昨年子供が生まれ父親になった洋平さん。自分にとって大切な場所だから守りたいという想いから、親が残してくれたものを自分の子供にもより良い形で繋げたいという想いに変化したそう。そのためには、持続的に地域が動く仕組みを作ることが大切だという。」

「誰か一人の活躍に頼ってしまうといずれダメになってしまう。様々な人がそれぞれの個性で活躍することで、地域が持続的に輝き続ける。その仕組みやきっかけを作ることが自分の役割だと思っています。」と話し、若い世代の人たちが新しい一歩を踏み出す後押しをしていきたいと語った。

「原村が好きという想いを持ったみんなが、大きな同じ目標に向かって前に進めたらいいよね。民間も行政も、同業者も、元々いる人も、移住者も、みんな仲間なんだよ。」と話した。

新しい風に乗る、ふわりと運ばれてきた種。その種が根付き花開くことができるよう、肥えた土壌を作ろうと土を耕す洋平さん。花が咲けばそこにはまた無数の種ができる。そんな風に循環し続ける豊かな地域を目指して。

NEXT

MY FIELD No.31 は最終回！次回をお楽しみに〜◎